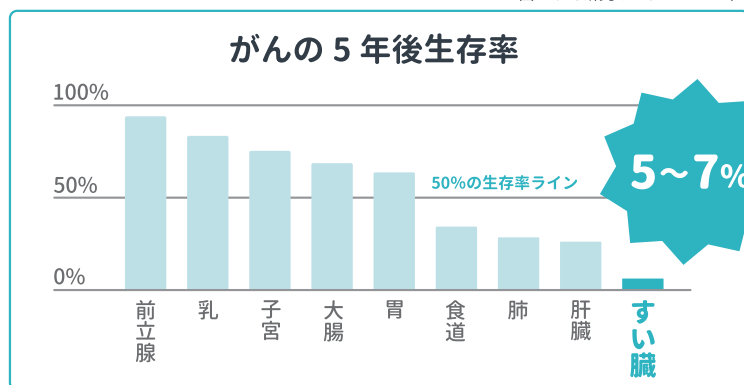


腹部MRIドックを 受けてみませんか？

MRIにて腹部領域のがん（肝臓・胆のう・すい臓・腎臓）の早期発見を目的としたドックです。中でもすい臓がんは、従来**“発見不可能ながん”“助からないがん”**として恐れられてきました。がんの中でもすい臓がんの5年生存率は低く、早期発見が求められます。当院では最新鋭のMRI装置を用いてすい臓のような自覚症状の少ない病気の早期発見をめざします。

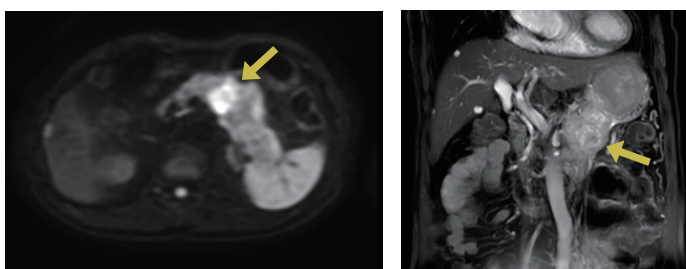
国立がん研究センター 2013年



Philips社製 IngeniaAmbition1.5T

腹部MRIドックについて

すい臓がんは現在、がん死亡者数全体で第4位、近年最も急増しているがんの1つです。1~3位の肺・大腸・胃に関しては、肺がん検診、胃がん検診など国のがん検診が実施されているのですが、唯一すい臓がんだけが国のがん検診の対象になっていません。検診はもちろん、人間ドックの基本検査項目だけでは、すい臓がんに対する早期発見は困難なのです。



こちらは、すい臓がん患者の実際のMR画像です。すい臓がんを明瞭に描出することができます。また、MRI検査は被ばくが無く、造影剤を用いないため、多くの方に安全に、安心して受診いただけます。

暗黒の臓器 すい臓がんの特徴

- ・進行するまで症状が出ず早期発見が困難
- ・他の臓器に囲まれているため画像によく映らない
- ・病気の進行、転移が早い



腹部に特化した
専門ドックによる
早期発見が非常に重要



神戸百年記念病院
公式マスコットキャラクター
ヒャクペン



医療法人社団 顕鐘会

神戸百年記念病院

Tel 078-652-4163 (直通)